

道徳的価値を自分との関わりで深める児童の育成 ～自己を深く見つめるための自分メーターの活用を通して～

特別研修員 道徳 亀井千恵子（小学校教諭）



児童の実態

みんなの前で発表することや、友達と考えを伝え合うことが苦手
自分自身の経験と結び付けて考えることができない



授業実践 「たまごやき」（出典：文溪堂） 父母の愛 C-(15) 家族愛、家庭生活の充実

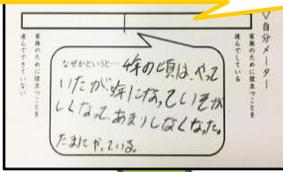
<手立て1>

多様な価値観に触れる**自分メーター**を基にした話合い活動の設定

※自分メーター…ねらいとする価値に対し、自分が望ましい行動を取れているかどうかを視覚的に分かりやすく表したものの。

【発問】 家族のために役立つことを進んでしていますか？

① ワークシートの自分メーターにねらいとする価値に対する自分の現状を示し、その理由を書く。



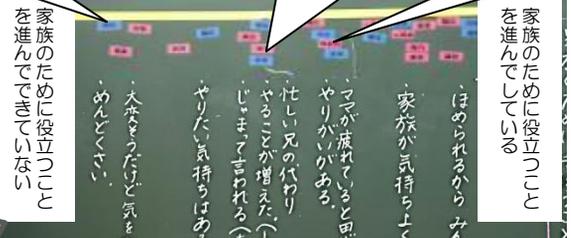
③ 位置付けた理由や行動の根拠となる心情を話し合う。

面倒くさくてできていないな。

同じ場所だけど、理由も同じかな。聞いてみたいな。

やりがいがあるから進んでやっているよ。

家族のために役立つことを進んでできていない



家族のために役立つこと

② 黒板の自分メーターにはワークシートに示した現状と同じ位置にネームカードを貼り、全体で共有する。



家族の気持ちまで考えたことはなかったなあ。

忙しいからできないって気持ち、分かる！でも本当にそれでいいのかな？

そうか、家族もほくのために仕事を頑張ってくれているんだ。



家族の一員だからってというのはどういうことだろう？

自分メーターの活用

<手立て2>

自己の変容を明確にし、自己を深く見つめる**振り返り**活動の設定

導入で想起した「今までの自分」、自分メーターを用いて見つめ直した「今の自分」、話合いを通して考えた「これからの自分」の三つの視点を基にした振り返り活動を行う。

お母さんやお父さんも僕のために仕事を頑張っているから、面倒くさいと思っていたけれど、これからは家の仕事を頑張っようようにしたい。



友達の意見を聞いて、何かやろうとすると「手伝って」と言うのは、家族なんだから一緒に頑張ろうよ、という意味だと思った。

目指す児童像

道徳的価値の理解を自分との関わりで深められる児童

<成果>

- ワークシートの自分メーターにねらいとする価値に対する現状を位置で示し、そこに位置付けた理由を記述することで、全員が道徳的価値を自分との関わりで考えることができた。
- 黒板の自分メーターで共有することでクラス全員の現状が視覚化でき、「自分との違いはなんだろう」「友達のことを聞きたい」という思いが児童の中に生まれ、主体的に話合い活動に参加することができた。
- 三つの視点で振り返りを行うことで、より具体的に変容を記述できた。

<課題>

- 自分メーターを用いた話合いでは、単なる行動面の評価にならないよう、行動の裏側にある心情を上手く引き出したい。
- 自分の考えが深まったと児童が自覚したり共有したりする場面を、振り返り活動の中に取り入れたい。